

2000年の生田緑地ゲンジボタル調査報告

亀岡千佳子*

The report of the firefly at Ikuta-Ryokuchi Park in 2000

Chikako KAMEOKA

1 はじめに

青少年科学館では毎年生田緑地公園内のゲンジボタルの発生状況を調査している。調査者は館職員と「かわさき自然調査団」の昆虫班であるが、昨年度の調査に加わってくれた市民も引き続き今年度の調査に参加頂いた。調査期間は6月1日から7月半ばまでとし、1週間に3日の調査日を設けた。調査結果がまとまったので報告する。湿地帯での発生数は例年よりやや多かったが、他の場所ではやや減少傾向にあり、生田緑地全体としては樂觀を許さず、今後も注目していく必要がある。

2 調査方法

設定した調査日の19時に青少年科学館に調査者が集合し、19時30分より調査場所に調査者を向かわせ、19時50分から20時10分までに20分間に目視により発光を確認したホタル数を記録した。調査者数が足りず、調査場所に調査者を張りつけることが出来ないときは、20分間に調査場所を巡回し調査した。数人で調査した場合、個人によりカウント数にバラツキが生じたが、その場で協議し、概ね平均数を記録した。記録は発光ホタル数の他に調査時の天気と気温を調査票に記入した。また、調査場所は昨年発生が確認された8箇所、15年ほど前に発生が確認され、現在は確認されていない「香りの園」脇の水路を加え、9ヵ所とした。

3 調査期間

桜の開花日等生物季節を参考にし、経験的に今年の成虫発生は6月初め、消滅は7月20日頃と予想し、6月1日から7月22日までを調査期間とした。発生・消滅はほぼ予想通りだったので、設定調査期間は妥当であった。

昨年は一昨年が5月末から発生したために、5月末から調査に入ったが生物季節が遅れていて一向に発生せず、初めの2週間は0の報告が続いた。また、その分消滅時期も遅れて7月末になり、2ヵ月以上の調査期間になってしまった。これはかなりの負担であったので、その反省に基づき、生物季節に注目して調査期間を決めたのは、効率的な調査を行えたようで良かったと思う。

4 調査場所

- ① 駐車場奥
- ② 奥の池
- ③ 奥の池南側谷戸
- ④ 旧岡本谷戸
- ⑤ 科学館奥
- ⑥ マレーゼの谷
- ⑦ 湿地帯下休耕田(蛍の里)
- ⑧ 谷間の探勝路(木道)
- ⑨ 香りの園

の9ヵ所。

5 調査参加者

新村 治 佐伯真美
森下祐子 松崎隆一郎
松崎絵里香 岩田順子
小森淳子 柏崎哲宏
国司 真 高岡英希
亀岡千佳子 若宮崇令

(12名)

延べ調査者数 78名

6 調査結果

調査結果は表1

- 調査場所
- ① 駐車場奥
 - ② 奥の池
 - ③ 奥の池南側谷戸
 - ④ 旧岡本谷戸
 - ⑤ 科学館奥
 - ⑥ マレーゼの谷
 - ⑦ 湿地帯下休耕田(蛍の里)
 - ⑧ 谷間の探勝路(木道)
 - ⑨ 香りの園

天気、気温は調査時のもの。

* 青少年科学館

7 ま と め

- 2000年の成虫発生は時期、発生数はほぼ例年並みであった。
- 発生数は湿地帯下休耕田(蛍の里)及び谷間の探勝路(木道)では昨年よりやや多かったが、改修工事が行われた奥の池では確認されず、そこに隣接する奥の池南側谷戸ではわずか1匹を1回だけ確認しただけであった。奥の池は谷戸の湿地を活かし、谷戸の多様な生態系復元めざし、棚田風に整備されたので、来年度以降どうなるか注目したい。
- 15年ぶりに注目した香りの園では確認できなかった。奥の池に復活すれば、ここも復活の可能性はある。
- 各調査場所の最多確認数は、①駐車場奥(23)、②奥の池(確認されず)、③奥の池南側谷戸(1)、④旧岡本谷戸(確認されず)、⑤科学館奥(12)、⑥マレーゼの谷(14)、⑦湿地帯下休耕田(53)、⑧谷間の探勝路(74)、⑨香りの園(確認されず)であった。
- 今年のピークは6月22日から27日頃の1週間位であった。
- 7月10日を過ぎると飛び交っているホタルはほとんどみられず、葉や地面にとまって発光しているメスばかりになった。7月22日の湿地帯下休耕田で確認した3匹も湿った地面で、弱々しく発行しているのをかろうじて確認したものである。
- 昨年までは雨の場合は調査を中止にしていたが、今年は雨具を用意して、中止にせず歩いた。その結果、晴天時よりは少ないが、かなりの雨でもホタルは飛び交っているのを確認した。
- 今年度の調査から生田緑地のホタルの発生について概観すると、枳形山から専修大学にかけての尾根の北側(湿地帯下休耕田、谷間の探勝路、マレーゼの谷)では例年並みかそれ以上であるが、南側は現象傾向にあるように思われる。

おわりに、暑くて多忙な中、会社や学校の帰りに青少年科学館に立ち寄り、調査に協力して下さいました方々に感謝申し上げます。

表 1 2000年 生田緑地ゲンジボタル発生調査結果

月 日	天気	気 温	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
6 1	晴	24.0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
4	晴	22.5	0	0	0	0	0	0	0	0	—
6	快晴	22.4	0	0	0	0	0	0	1	3	0
8	小雨	21.6	0	0	0	0	0	0	1	4	—
10	曇・小	18.5	0	0	0	0	0	0	2	7	0
13	雨	18.1	0	0	0	0	0	0	2	5	0
15	快晴	19.6	0	0	0	0	1	2	7	9	0
18	曇	22.0	1	0	0	0	3	1	2 2	2 2	0
20	晴	22.5	5	0	0	0	5	6	2 7	4 4	—
22	雨	22.1	1 7	0	0	0	1 2	8	5 0	7 4	0
25	曇	17.4	2 3	0	0	0	3	1 0	3 7	5 3	0
27	曇	22.0	2 2	0	0	0	9	1 4	5 3	5 2	0
29	曇	23.0	2 2	0	0	0	1	7	4 4	4 2	0
7 2	曇	23.5	1 1	0	0	0	0	9	2 9	2 2	—
4	雨	21.2	3	—	—	—	—	1	1 8	9	—
6	曇	22.0	6	0	1	0	2	2	1 0	1 9	—
9	晴	23.7	2	0	0	0	0	2	5	5	0
11	曇	24.7	0	0	0	0	0	0	1	3	—
13	曇	27.1	1	0	0	0	1	0	5	5	—
15	曇	25.3	0	0	0	0	0	0	1 0	2	—
18	曇	26.5	—	—	—	—	—	—	6	0	—
20	快晴	28.6	—	—	—	—	—	—	6	1	—
22	晴	27.6	—	—	—	—	—	—	3	0	—